にほんご友の会だより

No285　2023年10月

人って何でウソつくの？

榎本 紀恵子

他人をキズ付けるウソはいけないは大原則。

仁と信が大切。仁は人偏に「二」の字。よって人間二人が顔を合わせれば、お互いが守る道を指す。それは相手の立場になって考えること。思いやり、ゆずり合いの精神。

信は人偏に「言」の字。人間が口から出す言葉は「信じるもの」、あるいは「信じられるもの」で無くてはいけない。

人生にはウソをつかざるを得ない場合も有る。他人を救うため、自分を救うためにウソはいけない事だけれど、魂の真実がそこにこめられている場合も有る。そして私たちは時にウソによって救われることもある。ウソによって生きようとする意志を活発にさせることもある。

「ウソ」で窮地にある人物を激怒の社長から救うこともある。海外でヤクザっぽいのに出合ったら毅然たる態度でウソを付けという。その場のウソで威力発揮。子供の楽しみサンタクロースも素晴らしいことです。

動物はウソをつかないのは、現実に直接的に反応しているから、人間は言葉を持っているから言葉によって自分が直面している現実と自分との間を上手く調節しようとするからと思います。

「偽りの頭に宿る神あり」ということわざは、正直者の頭にばかり神が宿ると思ったらまちがいで、ウソによって救われる人もいるという意味。

フランスの「全ての真理が口にして良いとは限らない」のことわざは重症の病人には医者も時にウソを言う必要があるの意味らしい。実際人も羨む青年が思いも寄らず、風邪から肺炎重体となって入院、毎日の友人たちの見舞いに気をめいらせ本人希望で面会謝絶札。彼は心の牢獄に閉じ込もった。すると、どんどん悪化、彼の心理状態から救ったのは、看護士の機転からの作り話を応用してのものでした。毎日架空少女に、はげましの手紙を書いてもらいました。その気になると治癒力が働き出して、ついには健全、復帰。今は辛かった入院生活に、ふたをして以前の仲間とサッカーの生活です。

（11月は豊川さんです）

10月の学習予定日	7日	14日	21日	28日
11月の学習予定日	4日	11日	18日	25日

—たより TOP—